

熊本県上益城郡益城町支援報告書

1 支援期間、人数

平成28年6月12日～7月4日（延べ23日間）

（6月12日～7月1日 ⇒ 8人/1日）
（7月1日～7月4日 ⇒ 7人/1日）

2 支援体制

自治体等名	支援期間		
	自	至	支援期間
神戸市	4月20日	5月10日	21日間
横浜市	5月10日	6月8日	30日間
浜松市	6月8日	7月6日	29日間
新潟市	6月11日	7月4日	24日間
相模原市	6月12日	6月29日	18日間
愛知県中核市連合 (岡崎市・豊田市・豊橋市)	6月15日	7月8日	24日間
八尾市	6月25日	7月8日	14日間
唐津市	6月20日	7月11日	22日間

※ 新潟市の6月11日はミーティング参加のみ

3 作業内容

- 横浜市より引き継いだD地区（益城町をブロック分けしてエリアごとに収集）のがれき等の収集作業にあたる。収集するにあたり地域にチラシ（支援市が回収する旨の内容）を配布し、声掛けなどしながら収集作業にあたる。
- 全国都市清掃会議の依頼により、浜松市がリーダーとなり新潟市は浜松市をサポートしながら今後の収集計画等を環境省、益城町などと連携して作成。
- 新潟市は、途中から益城町役場に届いた要望、苦情に対応。（主に瓦、ブロックの運搬）

4 その他（所感、課題など）

- 収集車が11台あり収集車の特性も異なるが、事務、作業員同士連絡を密にすることで効率よく収集することができた。
- 益城町の住民にも感謝され、公費解体前のがれき撤去に一定の目途を付けることができた。
- 益城町の職員は発災後、休みもなく日々苦情対応や業務に追われていることから、絶対に負担をかけないことを前提に支援を実施。
- この度の支援は、環境省、全国都市清掃会議が調整役となっていたが、現地の状況や情報（収集する品目、排出量、道路状況など）が支援エントリーの時点で全く入って来なかったため、先遣隊を派遣する事も有効である。
- この度の派遣について活動内容を取りまとめ、災害時の教訓としたい。

5 現地写真



1 益城町役場と収集車両



2 作業風景（ブロック）



3 作業風景（瓦）



4 仮置場へ排出



益城町町長

5 益城町町長激励（6月16日）
環境省、和歌山県、浜松市、相模原市、岡崎市、新潟市



6 一次仮置場（木製家具）